

332アーク溶接装置を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	9 ～ 10	工場内において、会社指定の作業着、防護用具等を正しく着用して溶接作業を行っていたところ、飛び散った火花が防護服の隙間に入り込んでしまったことに気付くのが遅れたため、肌着（化繊）に着火してしまい火傷を負った。	22	11	11209	30 ～ 49 人
2	2018	2	16 ～ 17	ステンレスの切断作業中、火花が左足ズボンのすそに引火して火傷した。	26	11	80409	—
3	2018	2	13 ～ 14	荷崩れしそうだったので、荷台を直していたところ、溶接機が動きキャスターに右手薬指が挟まれた。	38	7	11509	10 ～ 29 人
4	2018	3	16 ～ 17	工場内でスポット溶接を行っていた際、半製品に左手を添えたまま右足でフットスイッチの位置を直そうとしたことで、誤ってフットスイッチを踏み込んでしまい、怪我をした。	50	7	11203	10 ～ 29 人
5	2018	3	12 ～ 13	工場屋根上で既設スレートを撤去後、既設下地を溶接により取り付けを行っていた。その際に火花が下方設備（鉄分離機）カバー上部に落下して堆積したアルミ粉塵に引火した。被災者は下方設備（鉄分離機）カバー上に降りて燃えた粉塵を蹴落とそうとしたとき、衣服に引火した。	69	16	30201	1～ 9人

6	2018	3	18 ～ 19	工場内で溶接作業中に半自動溶接機のトーチ付近の調子が悪くなり修理をしていた。そのときに急にトーチ内のワイヤーが飛び出し て右手の平に突きささり裂傷を負った。	44	8	11209	30 ～ 49 人
7	2018	3	17 ～ 18	工場内にて、溶接作業を行っていた。足元付近の箇所を溶接するため、右ひざを地面につき左ひざを立て左胸に当てるような体勢でしゃがみ込み下向きで溶接を行っていたところ、左肩あたりが煙た いことに気づき確認したところ作業服が燃えていた。急いで作業服を叩き火を消そうとしたが消えず、近くにいた作業員に助けを求め一緒に作業服を叩き消化した。	56	11	11209	—
8	2018	5	14 ～ 15	工場製品を両手で押さえながら足ふみでスポット溶接をしていたら、火花が右手親指の腹の部分に入った。	19	11	11209	50 ～ 99 人
9	2018	5	17 ～ 18	アーク溶接作業を行っていたとき、溶接を開始させた後、もう一方の治具にセットする作業の際、溶接中の製品の火花を直視していた ため目や目の周辺を負傷した。	43	12	11502	300 ～ 499 人
10	2018	5	17 ～ 18	アーク溶接作業を行っていたとき、溶接を開始させた後、もう一方の治具にセットする作業の際、溶接中の製品の火花を直視していた ため目や目の周辺を負傷した。	43	12	170101	300 ～ 499 人
11	2018	5	10 ～ 11	溶接作業中に、エプロン式の溶接防護服を着用していたが作業員の左胸上部付近に溶接火花が引火して作業服が燃えたため、左胸部付 近に火傷を負った。	51	11	30105	30 ～ 49 人
			14	スポット溶接機の操作中、手指が電極に残っているときに誤って足				10 ～

12	2018	5	15	踏み式スイッチに触れてしまい、右手親指の第一関節部分を挟んだ	44	7	170101	29 人
13	2018	6	16 17	廃油が入っているドラム缶の中身を確認せず、電気プラズマ切断機で切断し始めたところ、残っていた廃油が爆発して飛び散り、顔と腕に怪我をした。	68	11	150102	10 ～ 29 人
14	2018	6	15 16	ゴム試験機治具の孔埋め溶接（下向き溶接）を半自動溶接で行う際に、軍手と皮手袋（二重）を両手に装着し、右手で溶接トーチを持ち、左手でトーチを下から支える体勢で溶接作業をしていた。その際、溶接アークの反射熱を右手に感じたが、あと少しで終わるため、欠陥防止を考慮しそのまま作業を続けたところ、左手中指に火傷を負った	67	11	11301	1～ 9人
15	2018	6	14 15	組立工程で溶接作業中、左目に何かが入り、かゆみと痛みが生じた。	28	4	170101	100 ～ 299 人
16	2018	6	14 15	組立工程で溶接作業中、左目に何かが入り、かゆみと痛みが生じた。	28	4	10805	10 ～ 29 人
17	2018	7	14 15	事業用トラックの飼料タンク表面を補修するために、鉄製のあて板を溶接し、途中で溶接用手持ち面を使用しないで作業したために災害が発生した。	55	12	40301	10 ～ 29 人
18	2018	8	3 4	スポット溶接機で、片側のボタンのみで起動する状態で作業をしてしまい、右手で部品をセットし、起動ボタンを押したため、右手親指を機械に挟まれた。	50	7	11502	50 ～ 99

									人
19	2018	9	16 ～ 17	工場内でハンドプラズマを片付け中、トーチ先端の部品が緩んでいたためトーチを左手で持ち右手で締め付けようとしたとき、持っていた左手でトーチのスイッチを押してしまい、アークが出て右手の手の平と側面に火傷を負った。	19	11	11209		30 ～ 49 人
20	2018	9	4 ～ 5	自社で道具の片付け作業中、傾いていた溶接機を片付けようとした際、左手を挟んでしまい甲を負傷した。	21	7	30209		1～ 9人
21	2018	9	16 ～ 17	工場内でハンドプラズマを片付け中、トーチ先端の部品が緩んでいたためトーチを左手で持ち右手で締め付けようとしたとき、持っていた左手でトーチのスイッチを押してしまい、アークが出て右手の手の平と側面に火傷を負った。	19	11	11209		30 ～ 49 人
22	2018	9	4 ～ 5	自社で道具の片付け作業中、傾いていた溶接機を片付けようとした際、左手を挟んでしまい甲を負傷した。	21	7	30209		1～ 9人
23	2018	9	16 ～ 17	工場内でハンドプラズマを片付け中、トーチ先端の部品が緩んでいたためトーチを左手で持ち右手で締め付けようとしたとき、持っていた左手でトーチのスイッチを押してしまい、アークが出て右手の手の平と側面に火傷を負った。	19	11	11209		30 ～ 49 人
24	2018	9	4 ～ 5	自社で道具の片付け作業中、傾いていた溶接機を片付けようとした際、左手を挟んでしまい甲を負傷した。	21	7	30209		1～ 9人
25	2018	9	16 ～ 17	工場内でハンドプラズマを片付け中、トーチ先端の部品が緩んでいたためトーチを左手で持ち右手で締め付けようとしたとき、持っていた左手でトーチのスイッチを押してしまい、アークが出て右手の手の平と側面に火傷を負った。	19	11	11209		30 ～ 49 人
			4	自社で道具の片付け作業中、傾いていた溶接機を片付けようとした					1～

26	2018	9	5	際、左手を挟んでしまい甲を負傷した。	21	7	30209	9人
27	2018	10	8 9	スポット溶接作業中、落ちたボルトを拾おうとして体がスイッチに当たり、機械が作動して右手親指を挟んだ。	36	7	11209	1～ 9人
28	2018	11	16 17	工場の増築工事現場で、前1名と後ろ2名でウェルダー（471kg）を移動させる際、前方の作業員が左足をタイヤに踏まれ、左足小指を骨折した。	47	6	30201	30 ～ 49 人
29	2018	11	15 16	治具をセットし、溶接機でアークを出そうと溶加棒を溶接機先端に近づけたとき、溶加棒がタングステンに接触してスイッチが入り、アークが出る前に高電圧が溶加棒に流れた。その際、左手で持っていた溶加棒を通じて高電圧が左手に流れて感電し、左手人差し指と中指を負傷した。	22	13	11503	1～ 9人
30	2018	11	14 15	工場内で、半自動溶接機を使用して作業員2名で溶接作業をしていた。その際、同僚が誤って被災者の左手人差し指に溶接機のトーチを接触させた。	21	6	11209	10 ～ 29 人
31	2018	11	15 16	作業中に溶接ワイヤーが左肘に刺さり、神経を損傷した。	38	3	11502	500 ～ 999 人
32	2018	11	15 16	工場で溶接作業中、溶接トーチ先から出ていた溶接ワイヤーが、被災労働者の左肘に刺さった。	38	3	170101	500 ～ 999 人

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。